

ビジネスパーソンの「夏休み」と「シルバーウィーク」に関する調査2016

～「山の日」の設定、シルバーウィークの曜日配列はどのような影響をもたらしたのか～

今年より新たに山の日（8月11日）が設定されました。お盆時期の直前に設定されたことで、夏休み休暇が会社で制度化されていない方にとっては、休暇を取得しやすくなったのでしょうか。また、シルバーウィーク時期における昨年からの曜日配列の違いは、休暇取得率にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。

3回目を迎える今回は、ビジネスパーソン1,000人のアンケートから昨年データも踏まえつつ「リアルな夏休み・シルバーウィーク事情」に迫ります。

※P2以降のグラフではシルバーウィークを「SW」と省略しています。

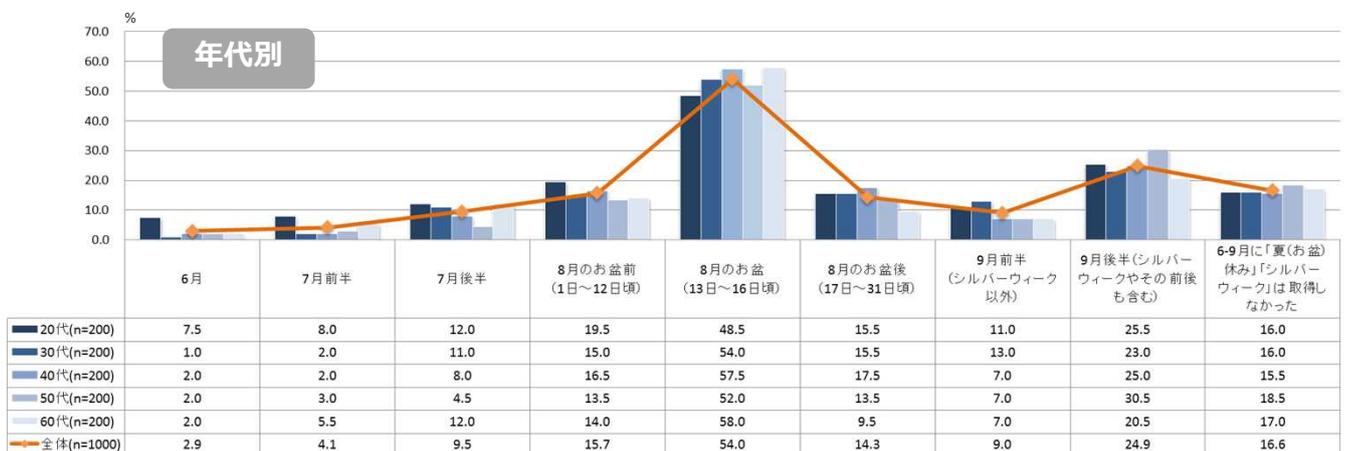
【調査結果詳細】

シルバーウィーク時期での休暇取得率は17.6%減少。取得時期では「8月のお盆」が最も高く、既婚者（子供有）で特に高い。

昨年同様に6～9月の間の休暇取得は、「8月のお盆」が突出して高く54.0%で、既婚（子供有）は高くなる傾向が見られた。「9月後半（SW含む）」での取得率は、曜日配列の関係からか前年に比べ17.6%減少。

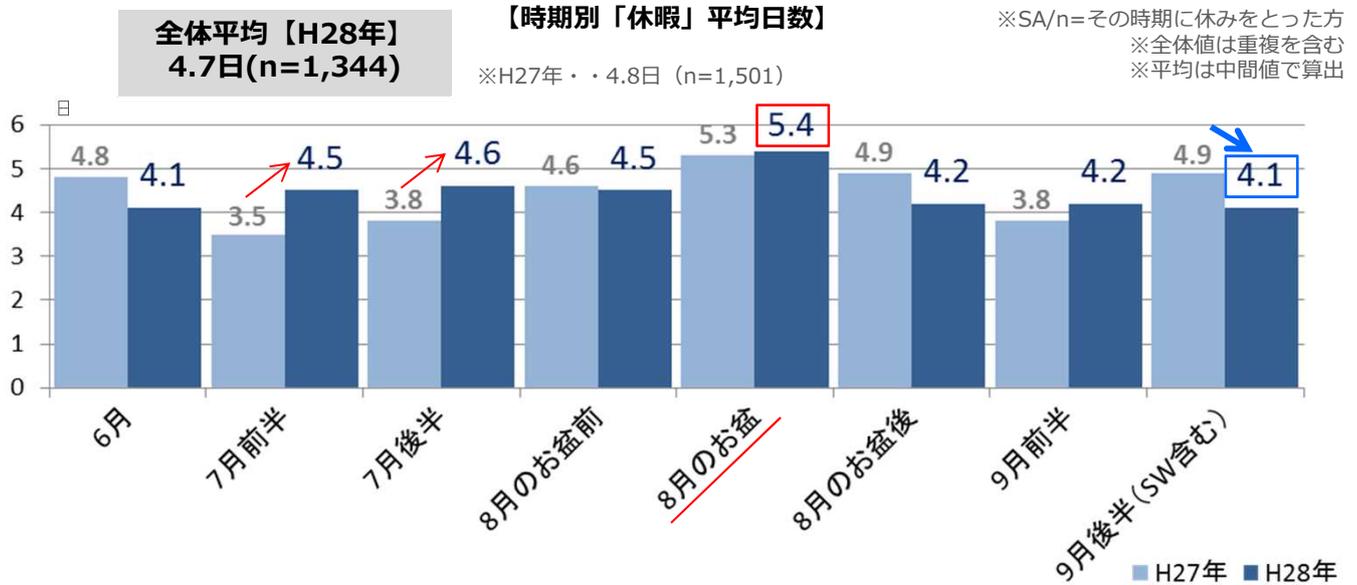
【時期別「休暇」取得率】

※MA/n=1,000



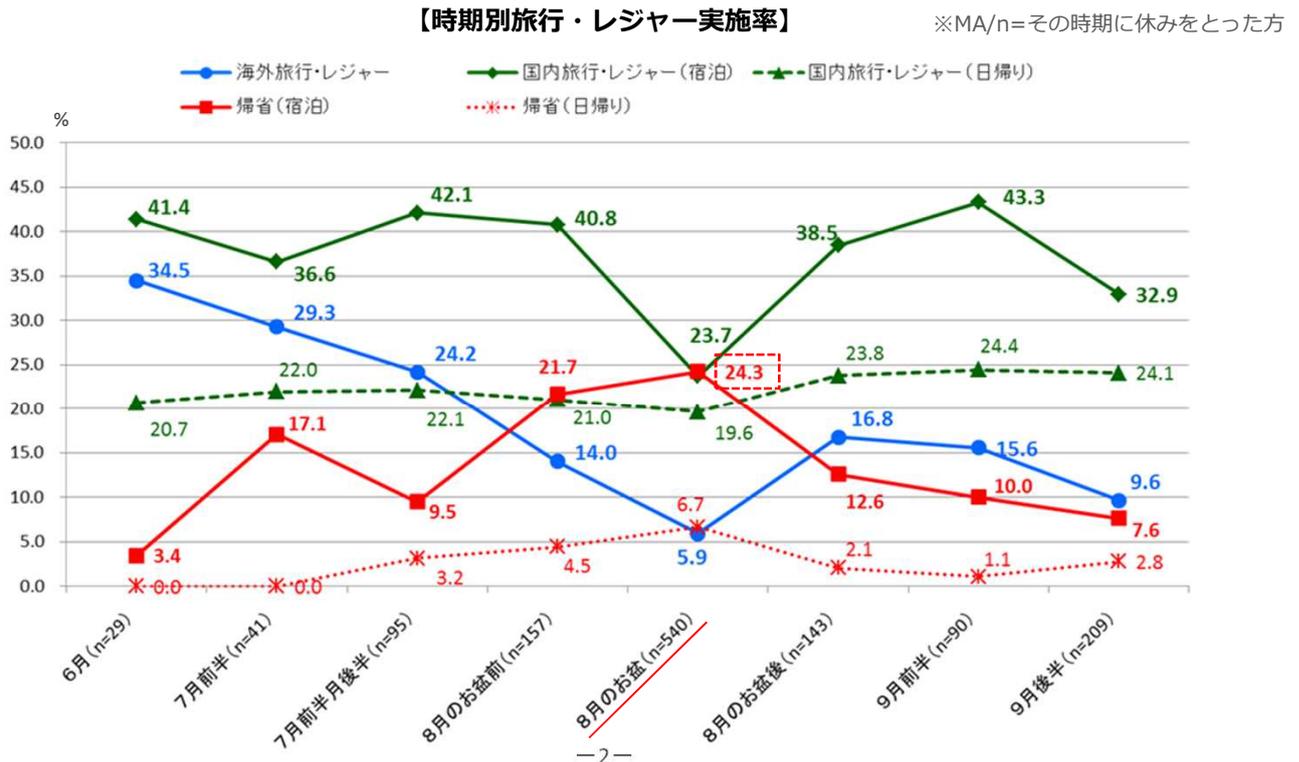
6～9月時期における平均休暇日数は、4.7日と昨年とほぼ同数。その中で、「9月後半（SW含む）」は昨年より0.8日減少し、最も低い結果となった。一方で、最も休暇を取得する時期は「お盆」で5.4日、次いで「7月後半」「7月前半」「8月のお盆前」と続く。

平均休暇日数で見ると最も多い「お盆」と、最も少ない「6月」「9月後半（SW含む）」の差は1.3日となった。昨年と比べると、シルバーウィークでは0.8日減少し、7月（前・後半）での休暇日数は0.8～1.0日増加。



休暇取得した人の時期別での旅行・レジャー実施内訳を見ると、「お盆」では帰省の割合が高まり、海外旅行・国内旅行（宿泊）が低くなる。海外旅行に関しては、「6月」「7月前半」で高く、国内旅行（宿泊）はお盆を除き常に上位を占める。

時期別での旅行・レジャーの内訳をみると、「お盆」では帰省の割合が他の時期に比べて高くなる傾向にある。夏本番となる8月前（6月・7月）に休暇取得した方の中では海外旅行の割合が高い。国内旅行（宿泊）はお盆時期を除き、常に上位を占める。国内旅行（日帰り）については、どの時期においても一定の割合であった。



6～9月休暇取得者における国内旅行時の平均消費金額は60,935円。時期別では「お盆」での消費額が最も低く、その前後で高くなる傾向。

交通費・宿泊費を含めた消費金額（海外旅行を除く）は「お盆」が最も低く、53,964円。平均消費金額を、6,971円下回る。一方で、「7月前・後半」「お盆前後」では平均を約7,000円上回る傾向。

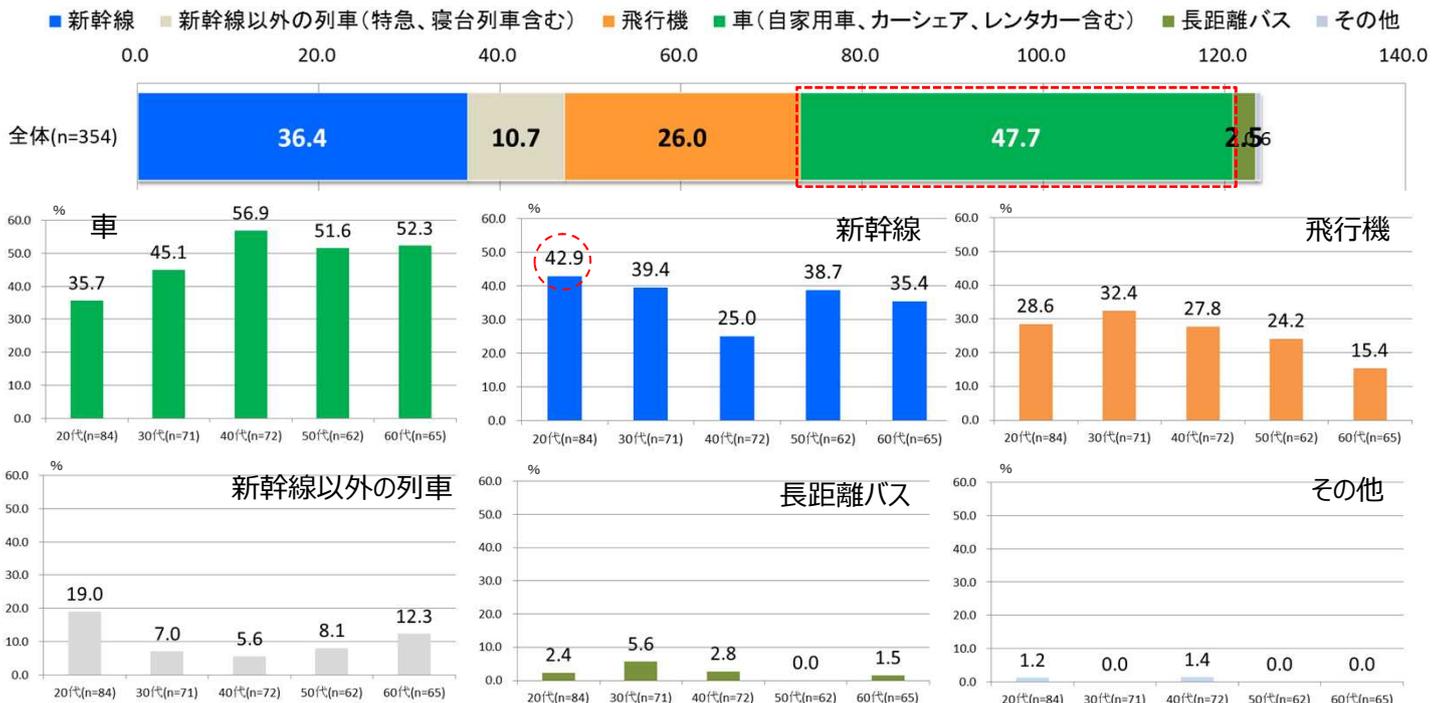


調査対象時期の国内旅行（宿泊）で利用した交通手段で最も多いのは「車」、以下「新幹線」、「飛行機」と続く。20代では「新幹線」利用者が他の年代に比べ高く、30代以降は「車」利用者が5割を超える。

移動手段の割合は「車」「新幹線」と昨年とほぼ同様の割合の結果。年代別で見ると、20代においては「新幹線」の利用率が最も高く、昨年より12ポイント上昇。一方で「車」利用については他年代に比べ低い。

【国内旅行（宿泊）で利用した移動手段】

※MA(2つまで)/n=6～9月時期での国内旅行（宿泊）実施者



「お盆」時期における旅行は、地域別でみると近郊エリアが多く、居住地と訪問エリアの距離における関係性が見受けられる。

休暇で訪れた国内エリアを見ると「関西」「東海」「関東・首都圏」の順で続く。「東北」エリアへの訪問は首都圏の割合が高い。一方で、「中国」エリアへは関西圏の割合が高く、居住地と距離との関係性が窺える。

【休暇で訪れた国内エリア】

※n=「お盆」での宿泊・日帰り旅行（国内・帰省）実施者（海外旅行除く）

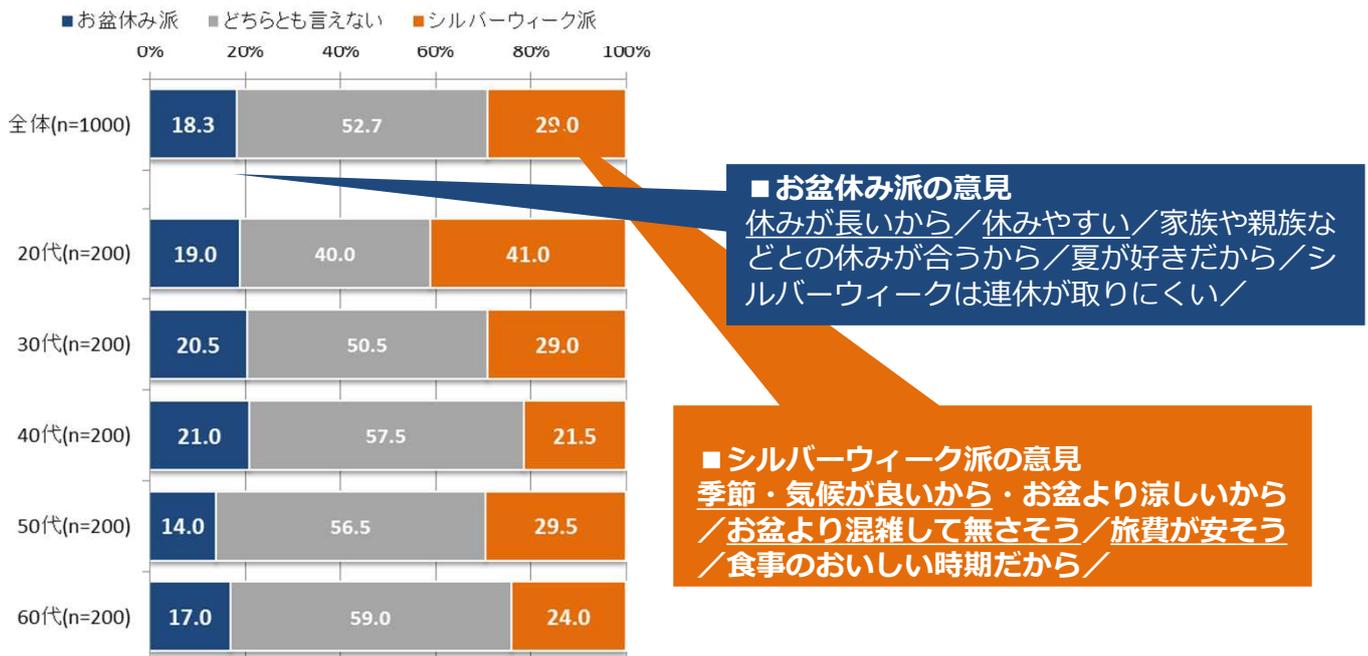


海外・国内旅行に行く時期で良いと思う時期について、「お盆休み派」18.3%、「シルバーウィーク派」29.0%。シルバーウィーク派では「季節・気候が良いから／暑さがやわらかから」の理由が多く見られた。

旅行へ行く時期は「シルバーウィーク」が昨年に続き勝利。特に20代が最も高く41.0%、40代が21.5%と最も低い。選ぶ理由としては、「季節・気候が良い」の他に「旅費が安そう」「食事のおいしい時期だから」などが挙がっている。「お盆休み」は全体で18.3%で「夏が好き」などの意見の他に、「シルバーウィークは連休が取りにくい」といった声もみられた。

【旅行（海外・国内）を希望する時期】

※SA/n=1000



● 調査結果から

時期別の休暇取得率トップは「8月のお盆」で54.0%。スコア含め昨年同様であった中、「9月後半（シルバーウィーク含む）」は17.6%減少（24.9%）し、曜日配列の影響がみられた結果となりました。今年、新たに設定された「山の日」による影響は、お盆前・お盆ともに取得率がほぼ同様であった事からそこまで無かったように見受けられます。

「お盆」時期については、既婚者（子供有）での取得が家族構成別でみると高く、「家族や親族などとの休みが合うから」といったお盆休み派の意見や、「帰省（宿泊・日帰り）」の割合が他時期で比べ上昇することから、故郷でゆっくり過ごすニーズが高い傾向にあるようです。

調査対象時期（6～9月）における国内旅行（宿泊）での移動手段トップは「車」。ただし、年代別でみると、20代では「新幹線」が「車」を逆転し、若年層の車離れが影響しているものと推察されます。

旅行を希望する時期での「お盆休み派」vs「シルバーウィーク派」は、曜日配列に関係なく昨年に続き「シルバーウィーク派」の勝利でした。「夏より暑くない」「食事がおいしい時期」といった時節による意見が見られることから、季節的要素は旅行ニーズに影響する要因になることが窺えます。

調査概要

| | |
|---------|--|
| 調査方法 | インターネットリサーチ |
| 調査地域 | 首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県） 東海圏（愛知県、岐阜県、三重県） 関西圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県） |
| 調査対象 | 20歳～69歳の男女ビジネスパーソン（マクロミルモニタ会員） |
| 割付方法 | エリア（首都圏、東海圏、関西圏）× 年代（20,30,40,50,60代）を均等に回収 / 合計1,000サンプル |
| 調査日時 | 2016年11月2日（水）～11月3日（木） |
| 調査機関 | 株式会社ジェイアール東海エージェンシー 株式会社マクロミル |
| その他調査項目 | ・会社制度の有無 ・「夏休み」「シルバーウィーク」の満足度（時期や日数、内容・行き先、交通手段、旅費、同行者） |

<調査結果の引用・転載、取材などに関するお問い合わせ先>

株式会社ジェイアール東海エージェンシー コミュニケーションデザイン部 担当：法花・糟谷
TEL: 03-6688-5009 e-mail: h-hokke@jrta.co.jp